

イベント

「よ市～夏祭り～」の開催

店舗の本設再建が進む末広町で「中心市街地に賑わいを取り戻したい」との熱い思いから、震災後初めて開催します。大槌末広町商店会加入事業者を中心に、出店や郷土芸能等ステージイベントを実施します。

- 開催日 8月12日(土)
  - 時間 14:00～21:00
  - 場所 末広通り周辺
- ※詳しくは折り込みチラシをご覧ください。
- ☎ 協同組合 大槌末広町商店会

募集

心の輪を広げる体験作文・障害者週間のポスター募集

障がい者に対する理解を深め、共に生きる地域づくりの促進に資するため、心のふれあいをテーマとした作品を募集

します。応募に関しては下記担当課にお問い合わせください。

【心の輪を広げる体験作文】

テーマ：出会い、ふれあい、心の輪—障がいのある人とない人の心のふれあい体験を広げよう—

応募資格：小学生以上

【障害者週間のポスター】

テーマ：障がいの有無にかかわらず誰もが能力を発揮して安全に安心して生活できる社会の実現

応募資格：小学生及び中学生

■応募締切 9月1日(金)まで

☎ 保健福祉課 地域福祉班 Tel.0193-42-8715

大槌町職員の募集について

町は、平成30年度採用大槌町職員を募集します。住民の目線に立ち、積極的に課題に取り組む意欲を持った人材を求めています。

■職種及び採用予定人員

- ①一般事務職 若干名
- ②土木技師 1名
- ③建築技師 1名
- ④社会福祉士 1名
- ⑤身体障がい者を対象とし

た一般事務職 1名

■受験申込書の交付日時・場所

場所 役場庁舎2階 総務課職員班  
※町ホームページからダウンロードできます。  
※郵送でも交付を行います。希望者は、下記問い合わせ先にご連絡ください。

■受験申込書の受付

8月1日(火)～8月17日(木)  
8:30～17:15(土日祝日を除く)

※郵送は8月17日消印有効

☎ 総務課 職員班 Tel.0193-42-8710

大槌河川漁業協同組合役員  
の公募について

■日時 8月19日(土)

■定員 理事1名(小鮎川沿い 役員)

■公募方法 立候補

■場所 中央公民館 第1会議室

☎ 大槌河川漁業協同組合事務局  
Tel.0193-42-7682

釜石大槌地区行政事務組合  
からのお知らせ

消防士の平成30年4月1日採用予定は、現時点ではありません。

☎ 釜石大槌地区行政事務組合 業務部  
総務課 Tel.0193-31-1336

7月21日(金)～8月20日(日)  
夏季火災予防特別警戒実施中

火事と救急は  
119番へ

～正しく使って楽しい花火～

- 1 花火は、燃えやすい物のある場所では遊ばないようにしましょう
- 2 風の強いときは、花火遊びは止めましょう
- 3 水バケツ等の消火用水を準備しましょう
- 4 たくさんの花火に一度に火をつけないようにしましょう
- 5 必ず大人の人と一緒に遊びましょう

～火の取り扱いについて～

お盆中は何かと火の取り扱いが多くなりますので、火の取扱いには十分注意しましょう。

また、仮設住宅は多数隣接しており、火災が発生すると延焼拡大の危険がありますので火の取扱いはもちろんのこと、建物周囲にはゴミ可燃物等を置かないよう「火の用心」をお願いします。

☎ 釜石大槌地区行政事務組合消防本部 Tel.0193-22-1642  
☎ 大槌消防署 Tel.0193-42-3121

大槌橋架替工事に伴う迂回のお知らせ

9月4日(月)9:00より、現在の大槌橋は通行止めになります。

迂回路として右図のとおり仮橋を通行願います。皆様にはご不便・ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

(※取付道路及び仮橋が狭いため大型車両の通行にはご注意ください。)

☎ 大槌町役場 環境整備課 Tel.0193-42-8722  
☎ 東野建設工業(株) 大槌橋下部作業所 Tel.0193-55-5061



～浪板海岸の再生に向けて～

第一回 浪板海岸砂浜再生懇談会 報告

今年度、県において、浪板海岸の砂浜再生が技術的に可能かどうか検討する技術検討委員会が開催されています。

町は、砂浜再生が可能であると判断された場合、円滑に工事に移行できるよう、地元関係者・県関係者と有識者を交え、地元がどのような砂浜再生を求めるのか、どのような附帯施設が必要なのかを話し合う第1回目の懇談会を開催しました。



【開催日時】

平成29年6月27日(火) 13:00～14:30

【地元関係者の主な意見】

(浪板海岸の魅力について)

- ・三陸では貴重な遠浅で水のきれいな海岸であり、現在も透明度が高く、浪板海岸の魅力の一つとなっている。
- ・今でも、国道をわざわざ降りて、海岸を眺める方がいることや、山田側から見える景色が自慢。

(浪板海岸砂浜再生の必要性について)

- ・もともと吉里吉里海岸はファミリー向け、浪板海岸はマリンスポーツ向けと使い分けがされていた。吉里吉里海岸があるから浪板海岸に砂浜が不要なのではなく、浪板でも海水浴やサーフィンなどのマリンスポーツができるようになってほしい。

(浪板海岸の現状について)

- ・震災後、浪板海岸の入込数は半分以下に減っている。
- ・今年は、震災後、ここ数年で一番砂がついており、再生に期待したい。
- ・震災前は遠浅だったから冬でもサーフィンができたが、現在、3月から9月までの日中しかできない状況になっている。

(砂浜再生の方法について)

- ・昔、浪板海岸は遠浅の海岸であったので、遠浅の砂浜を希望する。しかし、予算や技術的に難しいのであれば、狭い幅でも良いので、お願いしたい。
- ・石浜だと、夏は石が熱くなつてはだしで歩けないので、砂浜が良い。

【附帯施設について】

- ・トイレは最低限ほしい。
- ・震災前と同じ設備はあったほうがよい。
- ・安全性を考慮しつつ、散歩する人、サーファー、海水浴客など、みんなのニーズに合うような工夫が必要である。

【アドバイザーの意見】

(砂浜再生の可能性とその課題について)

砂浜の安定は、波と砂の移動の状況のバランスで決まるものであり、震災前は浪板海岸に砂浜があったということは、そのバランスがとれていたということだと思う。

砂の粒径や量などについて以前と完全に同じ条件の砂浜をつくることができれば、砂浜は安定する可能性が高いが、砂の性質として、砂の粒径が大きければ砂浜の勾配はきつくなり、粒径が小さければ勾配はゆるくなる。

浪板海岸は、岩で両端を抑えられているので、砂は横には動かない、深いところに持っていかれるという可能性があるため、そのメカニズムを解明して、砂浜再生の可能性を調査検討していきたい。

(狭い幅で砂浜再生するための方法について)

どこか一箇所だけ砂をおいても砂は広がって流れてしまうので、結局、砂浜の奥行きがなくなってしまうことになる。狭い幅で砂浜をつくるには、横への砂の流れを止めるため、突堤をつくる必要がある。

【今後の取り組みについて】

町は今後も懇談会の開催等を通じて、県による砂浜再生の技術検討と並行し、砂浜再生が可能となった場合の方法や、再生する範囲、整備する附帯施設などについて、町民をはじめ利用者と意見交換を続けていきます。

砂浜再生に係る技術検討の結果は、来年3月に判断される予定ですが、町としても引き続き県と連携しながら、実現に向けて取り組んでいきます。



もしもの事でお困りの時は お電話ください

**はくえい典礼**  
**はくえい通夜会館**

事前相談も行っております

仏壇 仏具 灯笼  
各種取り揃えております

〒028-1121 大槌町小鮎26-164-15(花輪田) TEL 0193-42-7617 FAX 42-3767